

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	SL広場観光推進事業				
事業の概要	当広場には、鉄道技術史的に大変貴重である「123号機関車」があり、平成17年には国指定文化財の指定を受けた。今回の文化財指定を機に有識者によるシンポジウムを開催し、文化財としての価値と役割を検証し、今後の観光資源等としての活用方法の可能性を探るものである。				
	目標時期	平成17年度			
	総事業費	480	本年度事業費	480	交付金交付額
事業の必要性	「123号機関車」文化財指定を機に、有識者による記念シンポジウムを開催し、学術的観点に立った基調講演と当車両が果たしてきた役割を検証し、今後の観光資源としてのあり方を考えるディスカッションを行うことで、今後に向けた文化財の活用方法等の可能性を探ることができる。				
事業の有効性	本事業を町外で開催することで、丹後地域の観光資源としての一翼を担うという意気込みを示し、今後の観光ニーズに応える足掛かりとするものである。				
事業の効率性					
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果				
	2 住民の自治意識を高める成果 本事業は、シンポジウムの実行委員会をはじめとして、観光協会、保存会といった民間団体が主体となって実施されるものである。行政主導ではなく当車両の価値を認め、愛着を抱く人たちが独自でその周知、これからの活用方法を見出していこうという事業であり、今回のシンポジウム開催を契機として、今後はより斬新な発想によって観光推進が展開されることが期待できる。				
	3 リーディング・モデル成果 機関車という資源を扱った観光振興は、近隣では見られなかった取組みであると同時に、本事業の構成団体は地元の住民だけでなく、県外からのメンバーも多数含まれていることも珍しいことから、当地域におけるモデルケースとしての効果を期待する。				
	4 広域的波及成果 本事業は、町内住民向けの説明会ではなく、より広域的な意味合いを強めるため意図的に町外の施設を利用して実施される。こうした姿勢は、一町内にある貴重な文化財という枠を超え、府北部もしくはそれ以上の範囲で今まで以上に親しまれる存在としてPRし、丹後地域の観光資源の一翼を担うものとして発展させていきたいという氣勢を込めたものである。今後においてもあらゆる観光ニーズに応えられる丹後」という広域的な効果をもたらすものである。				
	5 行財政改革に資する成果				
	6 その他の成果				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 具体的な成果欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。